

KCJS28 日本語 C クラス 2017 年 春学期

<講師>

- ・ 担任： たん にん ま えぐち お り え 前口 織江 oy18@columbia.edu 副担任： ふく たんにん に し ま た み ゆ き 西俣 美由紀 mf2249@columbia.edu
- ・ 講師室： ふ そ う 扶桑館 2 階 F203 電話：(075)251-4996

<授業時間>

- ・ 1 時間目 9:30-10:30 (60 分)、2 時間目 10:40-11:30 (50 分)

<このコースの目標>

1. 書かれたものや言われたことを正しく理解できるようになる。
2. 自分の言いたいことを分かりやすく説明できるようになる。
3. ば め ん 場面に合った話し方をすることができるようになる。

<コースの内容>

読む：①正しく読む練習。読んだことについて話したり書いたりする。表現や単語を学ぶ。

②楽しんで読む練習。辞書を使わずに簡単な本を読む。

書く：言いたいことを分かりやすく書く練習をする。

聞く：映画を見たり、ゲストの話の聞いたりして、聞く練習をする。

話す：会話（伝えたいことを自然な言い方で伝える）と発表（分かりやすい発表のし方を考える）

文法：読み物に出て来る文法表現を学ぶ。日本語能力試験(JLPT)2級の文法を学ぶ。

漢字：小テストをすることで、漢字力をつける。『Kanji in Context』からレベル3の約450字。

CIP:日本人のグループに参加し、授業では学べない表現や文化を学ぶ。

<注意>

日本語コミットメント：授業以外でも日本語を使う。

宿題：①出す日を守る。遅れたら点が半分になる。

②再提出(Redo)の宿題は三日以内に出す。

③自分一人です。 友達に見せてもらったり、直してもらったりしてはいけない。

欠席：①休む時は必ず連絡をする。

②6時間までの欠席は、成績に影響しない。

③7時間以上欠席した場合は、理由を説明したメモを日本語コーディネーターに出す。

遅刻：20分以上の遅刻は欠席。

予習：予習をしてから授業に来る。

試験／小テスト：受けられなかった試験を別の日に受けることはできない。

Honor Code : Office of Global Programs Columbia University Terms of Participation と

Columbia College Honor Code (<http://www.college.columbia.edu/ccschonorcode>)を守る。

<日本語が上手になるためのコツ(tips)>

- ①日本語をたくさん話す：日本人とはもちろん、KCJSの友達ともできるだけ日本語で話す。
- ②習ったことを使う：宿題や作文に習った漢字や文法を使う。話す時も習った表現を使ってみる。
- ③オフィスアワーを使う：分からないことは一人一人違うので、オフィスアワーに行き、質問をする。
- ④タイムマネジメントをする：
 - a) 宿題の多さは毎日同じではないので、予定を見て、時間をうまく配分する(distribute)。
 - b) 小テストの勉強と書く宿題だけに時間を使わない。読み物や表現の予習^{はいぶん}がとても大切。
 - c) 単語や漢字を覚える時、「長い時間×1回の勉強」で覚えることはできない。「短い時間×何回かの勉強」の方が覚えやすく忘れにくい。

<成績>

試験 (3回)	21%
期末試験	10%
漢字、単語テスト	15% (一番低い成績は落とす)
会話テスト (2回)	4%
宿題、作文	15%
授業参加・準備	15% (下から6回分の低い成績は落とす)
発表	10%
CIP	10%

- 94.0	A
93.9 - 90.0	A-
89.9 - 87.0	B+
86.9 - 83.0	B
82.9 - 80.0	B-
79.9 - 77.0	C+
76.9 - 73.0	C
72.9 - 70.0	C-
~	
59.9 -	F